まちの預金

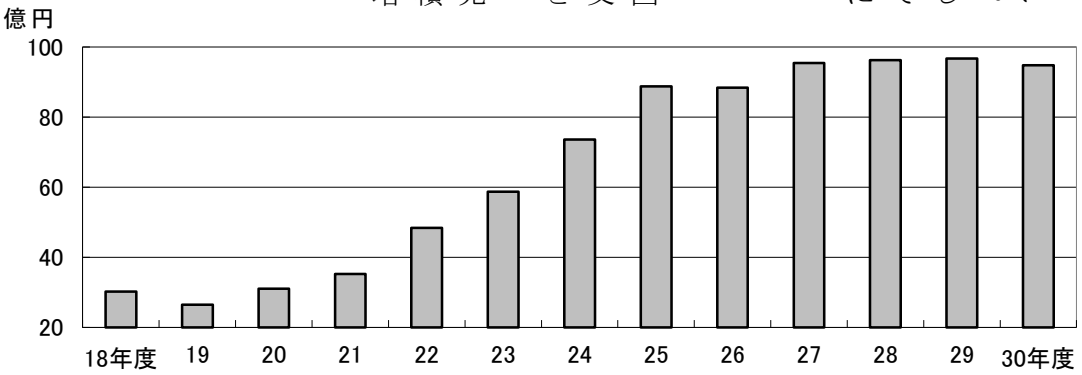
まちには、一般家庭でいう預金（基金）があります。

預金は、その目的に応じて管理しており、積み立てにより増加し、取り崩しにより減少します。

平成19年度末と平成30年度末を比較すると約68億円増加しました。

増加の要因としては、国の経済対策による地方交付税や補助金の増加などがあります。

令和元年度末現在高見込みについては、今後の積み立て、取り崩しにより増減することがあります。



※預金残高は、一般会計の出納閉鎖時点（5月31日）の見込みで、今後変動が見込まれます。

基金名	令和元年度末 現在高見込み	平成30年度末 現在高見込み	増減額	増減率
財政調整基金	22億5,078万円	28億　275万円	▲5億5,197万円	▲ 19.7%
減債基金	17億　206万円	19億　187万円	▲1億9,981万円	▲ 10.5%
まちづくり振興基金	24億8,681万円	26億　646万円	▲1億1,965万円	▲ 4.6%
地域振興基金	21億1,119万円	21億1,039万円	80万円	—
名寄線代替輸送確保基金	5,489万円	5,587万円	▲　98万円	▲ 1.8%
町有林野事業資金基金	91万円	91万円	—	—
計	86億　664万円	94億7,825万円	▲8億7,161万円	▲ 9.2%

※このほかに土地開発基金、奨学資金貸付基金、医師養成確保修学資金貸付基金及び介護給付準備基金があります。

預金（基金）の説明

財政調整基金	財政運営上の収入不足の調整や災害発生などに備える預金です。
減債基金	公債費（借金の返済）に充てる預金です。
まちづくり振興基金	様々なまちづくり事業に充てる預金です。寄附金を受けた場合に積み立てることがあります。
地域振興基金	町村合併時に将来に備え借金をして造成した預金です。返済金の多くは国から補てんされます。
名寄線代替輸送確保基金	名寄線の廃止以降のバスによる代替輸送に充てる預金です。
町有林野事業資金基金	町有林野の造林や林道整備などに充てる預金です。

積み立て 取り崩し

預金ごとに積立て、取崩しを説明します。

【財政調整基金】

財政調整基金は、財政収支を調整し、赤字にならないようにするためのものです。

遠軽町は、平成17年10月に財政状況の厳しい町村で合併しました。当時の基金残高は、５億２１４４万円で、財政調整基金の一般的な適正水準を下回る約６％しかありませんでした。

こうした過去の反省から、平成27年度に策定したまちの財政計画においては、適正水準である10％以上の水準を保つこととしています。

将来的な財政収支に影響を与える問題として、公共施設の老朽化対策や合併期間の経過による普通交付税の段階的な縮減などがあります。

こうしたことに備えるために基金残高を適正水準以上に保つ必要があります。

平成29年度は、決算の剰余金などで２億３０３０万円を積み立て、財政収支の調整のため２億円を取り崩しました。

基金残高は、適正水準を超える約30％となっています。

【減債基金】

減債基金は、借金（町債）の返済（償還）を計画的に行うためのものです。

返済の負担を軽減するため、積み立てることがあります。

町村合併直後の基金残高は、１億６２４６万円でした。

減債基金の適正水準はありませんが、道の駅や町民センター等の公共施設整備による将来負担の増加に備えて積み立てています。

平成29年度は、利子20万円を積み立て、取り崩しはありませんでした。

【特定目的基金】

特定目的基金は、特定の目的のために使うもので、まちづくり振興基金、地域振興基金、名寄線代替輸送確保基金、町有林野事業資金基金があります。

まちづくり振興基金は、まちづくりに関する様々な事業を行うためのものです。

平成29年度は、ふるさと納税寄附金などにより３４２０万円を積み立て、２２２１万円を取り崩しました。

地域振興基金は、町村合併時に基金残高が少なかったことから、合併特例債を借り入れて創設した基金です。

平成29年度は、利子８３万円を積み立て、取り崩しはありませんでした。

名寄線代替輸送確保基金は、国鉄名寄線の廃止以降、バスによる代替輸送をするために創設した基金です。

平成29年度は、利子３万円を積み立て、１００万円を取り崩しました。

町有林野事業資金基金は、町有林野の造林等のためのものです。

平成29年度は、利子１千円を積み立て、取り崩しはありませんでした。

遠軽町の木　エゾヤマザクラ

まちづくり振興基金の取り崩しによる主な使いみち（平成２９年度）

基金を充てる事業	取り崩し額	基金を充てる事業	取り崩し額
大型免許等資格取得支援	50 万円	小中学校図書購入	301 万円
福祉バス運行	100 万円	小中学校机・椅子購入	300 万円
就農支援対策	50 万円	アサマシジミ個体数調査	60 万円
木芸館改修	100 万円	えんがる球技場備品購入	350 万円